

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 二宮尊徳伝 (8)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

### 二宮尊徳伝 (8)

事業を進めるに当たり、村人たちをどのように指導し教化すべきかについて、尊徳は次のように語っています。

「自分が早起きしてのちに民にこれを教え、  
自分が遅く寝てのちに民にこれを教え、  
自分が精勵してしてのちにこれを民に推しひろめ、  
自分が節儉を行ってのちにこれを民に及ぼし、  
自分が信忠孝弟であつてのちに民を導く。

百行みな同様である。

それでもなお民に奮い立たぬ者があるとしたならば、  
それはわが心に誠実の至らぬものがあるためである」

すなわち自らができぬことを、他人に求めることはできないということでありましょう。

しかしそのうちに尊徳のやり方（仕法）について反対する者も多く出てきました。

彼の成功を妬む武士もいました。

古くからの村人と入植者たちの対立が起こったり、「分度」によって俸禄を低く抑えられている小田原藩士たちの妨害にも合いました。

事業半ばにして大きな難関に直面した尊徳は、藩に対して抗議を込めた長文の辞職願を提出します。

しかしその願いは放置されたまま殿様の元に届きません。

それを知った尊徳は雲隠れをして姿を消します。

成田山に籠って21日間の断食行に入ったのはこの時です。

尊徳43歳の時でした。

尊徳の雲隠れを契機にして、情勢は大きく変わりました。

反対派の勢力がそがれ、協力派が勢力を拡大していきます。

尊徳の仕法はこれを契機にしてほぼ順調に進展するようになりました。

また成田山の体験は、尊徳が自分の思想を練り上げるためにも大いに役立ちました。

「一元」という思想もそのひとつです。

陰と陽、善と悪、貧と富などの対立するものを対立したままに見る見方を「半円の見」といいました。

それに対して、これらの対立するものを融合して一段高い立場から統一して見る見方のことを「一元の見」といいました。

一元に みのり正しき 月夜かな

尊徳が読んだ一句です。

(9) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> 一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.